

報道関係者各位
プレスリリース

2011年7月21日
アーキウォーク広島



建築見学イベント開催のお知らせ open! architecture 2011 HIROSHIMA 京橋会館 ～ 広島の復興を象徴する名建築、解体前の見学会！ ～

市民団体アーキウォーク広島は、2011年8月に下記の通り建築見学イベントを開催することいたしましたので、お知らせいたします。



京橋会館の全景 (C)アーキウォーク広島

1. 京橋会館とは？
2. イベント概要
3. イベントのタイムテーブルと詳細
4. イベントに付随する事項
5. イベント取材をご希望の方へ
6. アーキウォーク広島の今後の活動について

1. 京橋会館とは？

- 京橋会館とは、広島市南区京橋町6番に位置する集合住宅であり、道路建設に伴う商店街の共同化事業として計画され、広島県住宅公社（当時）が1954年に完成させたものです。その後広島市に移管され市営住宅として使用されてきましたが、老朽化のため、2011年秋に解体されることになりました。
- 京橋会館の最大の特徴は、街区型（口の字型）の配棟計画にあります。街区型はヨーロッパなどで多く見られる形式で、道路側に建物を寄せて中庭を設けるというものです。中庭は子供の遊び場として設計され、住民のコミュニティ形成に配慮されていました。中庭は最終的には駐車場および庭園として使われていました。
- 入居する商業者のため、1～2階はメゾネットの店舗併用住宅（風呂付き）となっています。この区画には道路側だけでなく中庭からもアクセスできます。3～4階は共同住宅（風呂なし）です。間取りは現代のマンションとは異なり、江戸の長屋以来の伝統的な続き間となっていますが、設計図からはダイニングキッチンを設けようという意図（当時としては先進的）が読み取れます。
- 建築デザインについては、出窓や縦長の窓、連続ヒサシなどで外観に表情が付けられており、設備面ではダストシートも設けられていました。戦災復興途上の余裕のない時代にありながら、文化的な生活を実現させようとした設計者の心意気がうかがえます。
- 屋上には洗い場と物干し台が設けられています。建設当時は洗濯機が普及しておらず、屋上の洗い場で洗濯板を用いた洗濯が行われていたようです。このように戦災復興期の生活ぶりを知ることのできるのも京橋会館の特徴といえます。



外観



中庭



室内（メゾネットの2階）



屋上の洗い場

2. イベント概要

本イベントでは、京橋会館を2日間にわたって見学可能な状態とし、ガイドによる 建物の歴史や建築の解説を実施いたします。また、解体が迫った建物の過去をしのび、送り出す意味を込めて、広島在住のアーティストによるパフォーマンスをあわせて実施します。最新情報はアーキウォーク広島のホームページに掲載します。（URL） <http://www.oa-hiroshima.org>

■イベント名 open! architecture 2011 HIROSHIMA 京橋会館
(open! architecture は「オープン・（なかぐろ）アーキテクチャー」とのカタカナ表記が可能です)

■開催日 2011年8月13日(土)～14日(日) 小雨決行

■開催時間 建築見学は両日とも13:00～17:00（建築解説ツアーを、13:30、14:30、15:30、16:30 の4回実施します）
コンサートは14日の17:30～19:00

■会場 京橋会館（広島県広島市南区京橋町6番）

■参加費 無料

■主催 アーキウォーク広島（プロジェクトアドバイザー：open! architecture 実行委員会）

■共催 広島市

■後援 広島県建築士会、日本建築学会中国支部、日本都市計画学会中国四国支部

※open! architecture（オープンアーキテクチャー）とは、全国各地で 行っている建物一斉公開イベントです。

open! architecture とは？

建物それぞれの「誇り」を、まち全体で見直す機会をお届けします。

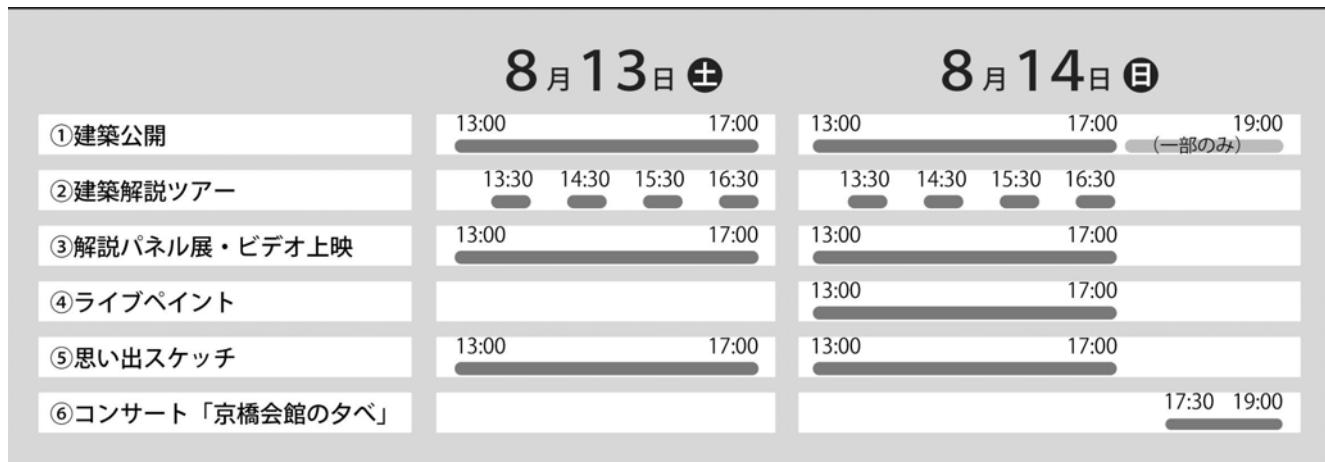
なぜ建物を公開するのか…

個々の建物には、所有者や関係される方にとっての「誇り」といえる部分があります。その「誇り」を、それぞれの敷地内で留めることなく、広く一般に公開することによって、それが地域や都市全体の「誇り＝財産」となっていくのではないか、私たちはそうした流れが起きることを期待しています。



■建物一斉公開イベント「open! architecture」公式サイト <http://open-a.org>

3. イベントのタイムテーブルと詳細



① 建築公開

二日間にわたって建物を見学可能な状態とします。(建築解説ツアーに参加しなくても各自で見学することは可能です)

② 建築解説ツアー

京橋会館の各所をめぐりながら、建物の注目ポイント、時代背景、集合住宅の歴史などを、アーキウォーク広島のスタッフが分かりやすく解説します。参加希望者は当日先着順にて受け付けます(無料です)。

③ 解説パネル展・ビデオ上映

京橋会館は集合住宅史においてどのように位置づけられるのか、デザイン・配置計画・間取りの計画など、多方面から解説した展示を行います。京橋会館という題材を通して、私たちの住まいのあり方を問い合わせる試みです。

④ ライブペイント

アーティストが京橋会館からインスピレーションを得て、丸一日かけて絵を描きあげるパフォーマンスです。

【アーティスト紹介】

Toyokazu Ono (小野豊一)

1982年生まれ。北広島町在住。死生観をテーマに印刷物や廃材を用い、主に平面の作品を製作している。



⑤ 思い出スケッチ

来場者の皆さんができるスケッチを描く企画です。描きあがったスケッチは京橋会館内で展示します。(展示は14日のみ)

⑥ コンサート「京橋会館の夕べ」

建築見学会終了後、京橋会館の中庭にてコンサートを行います。

小林知世 (こばやしともよ・写真右側) ピアノ

エリザベト音楽大学大学院を主席修了後、同大学院後期博士課程に在籍、アシスタント講師。

在学中ザビエル奨励賞、セシリヤ賞受賞。読売新人演奏会、広島市新人演奏会、日独交流演奏会(ベルリン)に出演、2010年には広島にて単独リサイタルを開催している。



山本一喜 (やまもとかずき・写真左側) バイオリン

5歳よりバイオリンを始める。第18回中国ユース音楽コンクール(弦楽器の部)奨励賞受賞。現在エリザベト音楽大学4年生。

アンサンブルひなた

エリザベト音楽大学の卒業生によるヴォーカル・アンサンブル。単独コンサートのほか、公共施設での演奏などの活動を行っている。クラシックの名曲から日本のポップスまで、レパートリーは幅広い。



4. イベントに付随する事項：昔の写真大募集！

アーキウォーク広島では、京橋会館の昔の姿や生活風景をとらえた写真を広く募集しています。公開可能なものについては見学会の場などで展示いたします。メールにてご連絡ください。(アドレス support1@oa-hiroshima.org)

5. イベントの取材をご希望の方へ

イベント当日に取材をご希望の方は、2011年8月10日(水)までに、アーキウォーク広島事務局(メールの送り先: support1@oa-hiroshima.org)へ、「担当記者氏名」「所属する報道機関名称」「連絡先」をメール送信してください。事前連絡の無い場合は当日の取材をお断りすることがあります。なお、イベント当日以外の日に取材をご希望の場合は、個別に対応いたしますので、メールにてアーキウォーク広島事務局(メールの送り先: support1@oa-hiroshima.org)へご連絡ください。

【注意事項】

- ・ 本イベントは、施設管理者様のご厚意により、特別に見学させて頂くものです。当日はアーキウォーク広島および施設管理者の指示に従って取材活動を行ってください。
- ・ 京橋会館の周辺には住宅地が広がっています。取材にあたっては、近隣住民の迷惑とならないよう最大限の配慮をお願いします。また、一般参加者の行動を妨げる行為(進路を塞ぐなど)はおやめください。
- ・ フリーランス記者で取材を希望される場合、「所属する報道機関名称」は不要ですが、必ず記者としての実績を証明する書類等(例えば、過去に執筆した記者名付き記事のスキャン)をメールに添付して事前にお送りください。

6. アーキウォーク広島の今後の活動について

- ・ アーキウォーク広島では、2011年10月前半に、広島市全域を対象とした「open! architecture 2011 HIROSHIMA」を実施する予定です。詳細については内容が固まり次第、改めて発表いたします。
- ・ アーキウォーク広島の活動について、下記ホームページにてメールアドレスを登録いただければ、最新情報をお届けいたします。
<http://www oa-hiroshima.org/event/submit.html>

本件に関するお問い合わせ先

アーキウォーク広島 事務局

[ADDRESS] 〒730-0036 広島市中区袋町 6-36 メールボックス 95 番

[TEL] 080-3880-8299 [MAIL] support1@oa-hiroshima.org [URL] <http://www oa-hiroshima.org>

(電話の常時対応はしておりません。ご連絡はできるだけメールでお願いいたします)